

「元気な垂水づくり！安心への挑戦」を踏まえ、第5次垂水市総合計画に掲げるまちづくりの目標「安心していきいきと暮らせるまち」および「豊かな自然の恵みを次世代に受け継ぐまち」について申し述べます。

保健・介護及び医療関係

2

地域包括ケアシステムの構築

→地域の保健・医療・介護・予防・生活支援が一体となって機能することができる本市に特化した仕組みの構築。

垂水市健康ポイント事業〔303万7千円〕

→特定健診受診等にポイントを付与し、一定ポイントにより商品券に交換できる事業。

たるみず健康ポイント手帳



健康長寿事業〔652万円〕

→たるみず元気プロジェクトにおける健康チェック事業に関する事業費。

◎たるみず元気プロジェクト健康チェック事業

→垂水市スーパーバイザーに鹿児島大学病院副病院長・大石 充教授を迎え、健康長寿を実現するための取組。



▲ H30 年度健康チェックの様子
実施期間／H30年7月～12月
会場／垂水中央病院他、20会場
参加者数／1,151人



健康チェック
申込受付中！
WEBからも

新庁舎建設関連

1

新庁舎建設関連事業〔1億279万8千円〕

→新庁舎建設にかかる事業費
基本設計・実施設計委託業務等。

◎新庁舎建設車座談会

→市長との対話を通じて、新庁舎に対する疑問の解消や、理解の促進を図ることを目的に座談会を実施中です。



◎座談会は8月末まで実施しております。お申し込み等の詳細は、WEBサイトからもご確認ください。



本号46Pで
新庁舎建設
Q&Aを掲載！



1 新庁舎建設関連

現庁舎は、昭和33年に建設され、市民生活の中心的な役割を果たしてきましたが、耐震性の問題をはじめ、業務の多様化による執務室の狭あい化、バリアフリー対策などの多くの課題がございます。

東日本大震災、熊本地震など、各地で頻繁に発生している地震、また桜島の火山活動に十分に対応できるとはいえない状況であり、災害から市民を守るため、早急な対応が求められておりました。

本年度は、防災拠点としての機能性および安全性の確保を図り、財政への影響に配慮した基本設計業務を行ってまいります。また、事業推進にあたっては、多くの市民の皆様のご理解を得られるよう、引き続き、車座談会などの広報広聴活動を通して、市民の皆様の理解促進に努めてまいります。

2 保健・介護及び医療関係

近年、市内クリニックおよび病院の閉鎖に伴い、多くの入院病床が失われてきており、本市の医療や介護の供給体制は非常に厳しい状況にあり、早期に解決すべき喫緊の課題であると認識しているところでございます。

そこで、地域の保健・医療・介護・予防・生活支援が一体となって機能することができると本市に特化した地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。

また、「たるみず元気プロジェクト事業」につきましては、全国よりも先んじて直面する高齢化社会が進行する中で、鹿児島大学病院副病院長の大石充教授と平成29年度から連携した健康長寿を実現するための取組であります。昨年7月から12月にかけて、垂水中央病院や各地区の20会場で

実施した健康チェックには、1151名の参加があり、参加された皆様から高い評価をいただいております。

本年度は、健康チェックの内容の充実とともに、回数や場所などを工夫し、多くの市民の皆様に参加していただくよう取り組み、これまでに得たデータを活用し、「運動に関する教室」を実施する予定でございます。また、市民自らが健康づくりに取り組む動機付けとなるよう、「垂水市健康ポイント事業」を継続し、市民一人一人が生涯を通じた健康づくりに取り組んでいただけるよう推進してまいります。

本市が抱える課題は、近い将来における全国的な課題でもあり、本プロジェクト事業が全国の先行事例となり、同様の課題を抱える自治体へ発信していくことを目指しております。引き続き、鹿児島大学医学部や医師会などと協働して取り組んでまいります。